

希望学年通信

山形市立第一中学校

第1学年 2024/06/06

No.17 文責：岡崎裕子

「いろいろな性・自分らしい生き方・愛し方」

～LGBTQ について～「一中 いのちの日の講話より」

昨日は、「一中いのちの日」で、山形県立保健医療大学の菊地圭子先生を講師にお迎えして講演を承りました。助産師をしていらっしゃる菊地さんは、専門的なお話を大変わかりやすくお話していただき大変勉強になりました。生徒の皆さんの感想を紹介します。



私は話を聞く前、男の人だから女の人を好きになる、とか女の人だから男の人を好きになるという風に決めつけていました。ですが、話を聞き、自分でよく考えてみると、人が好きになる人の性別なんて関係ないなと思いました。これからは、人との違いを受け入れ、それが当たり前なのだと考えたいと思いました。

僕は今日から、自分を自分で責めることをあまりしないようにしたいです。性にもいろいろな性があるのが勉強になりました。人にもいろいろな性があるのが勉強になりました。人にもいろいろな性があるので、バカにしたり差別したりは良くないと思いました。一人ひとりが何か違う性を持っていることも勉強になりました。僕も、自分らしく生きていきたいと思いました。

みんなが自分らしく生きるために、自分が、たくさんの性のあり方があることをしっかり理解しておくことが大切だと思った。～中略～ 動画で「他の人から温かい言葉をもらってうれしかった。」という話があったので、私も様々な性のあり方があることを理解して、「ふつう」にとらわれず、どんな人にも温かく接することができるようになりたいと思った。

今日は、こころの性、体の性、好きになる性、表現する性などを学びました。僕は、男性の方は心も男性だと思っていましたが、今日の話聞いて性別を決めていない人、男性の体でも心が女性の人がいるというのが分かりました。自分らしく生きるためには、友だちに自分のことをよく話す、というのがいいと思いました。人のふつうというのは、違うこともあるということを知ったので、自分が言われて嫌なことなども、言わないようにしようと思いました。

